あなたもチャレンジ！家庭菜園

ＱＲコード読み取りでバックナンバーが確認できます（スマートフォン対応）

土作りのポイント

野菜を育てるには、よい土作りが大切です。まずは畑の土を調べ、これから育てる野菜に適しているかどうか確認します。ポイントは水はけ（排水性）、通気性、水もち（保水性）、土の酸度です。

2．野菜作りに適した土を作る

① 土の酸度を調整する

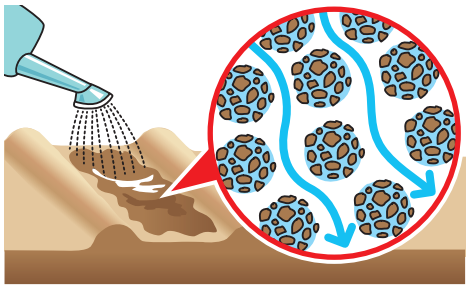
土作りで重要点は土の酸度です。ほとんどの野菜はpH6.0～6.5の弱酸性の土を好むため、栽培を始める前に土壌診断などで、畑にする土の酸度を調べます。土の酸度が6.0未満の場合は苦土石灰を散布して土にすき込みます。pHを上げる為には、1㎡あたり200g施します。消石灰をまく場合は遅くとも栽培開始２週間前までにはまくようにします。

主な野菜の好む土壌酸度

土壌酸度（pH）	pH	主な野菜
酸　性	5.0～5.5	スイカ
弱酸性	5.5～6.0	サツマイモ、ジャガイモ、トウモロコシ、ダイコン
	5.5～6.5	キャベツ、キュウリ、トマト、ニンジン、レタス
中　性	6.0～7.0	ゴボウ、ショウガ、タマネギ、ホウレンソウ

② 有機物をすき込んでよい土の構造にする

種まき・植え付けの１週間前に堆肥などの有機物をすき込んで、水はけ、通気性、保水性のよい土にします。



団粒構造の土の内部

水やりをしたとき、団粒のすき間は水や空気が通り、団粒と団粒のすき間に水や肥料分がたくわえられる。

1．畑の土を調べる

① 排水性、通気性、保水性

よい土：土を軽く湿らせて握り、指で押して崩れたら、野菜の栽培に適しています。

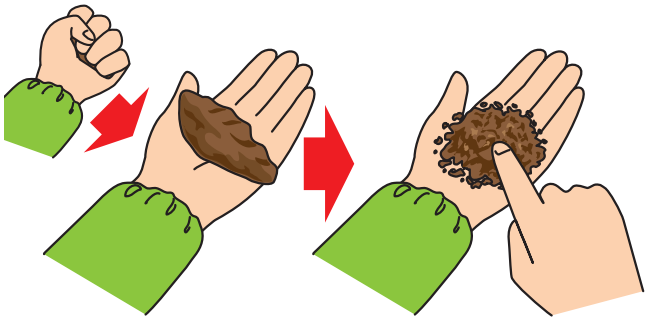
悪い土：土を軽く湿らせて強く握り、かたまらなかった場合、または、かたまっても指で押して崩れない場合は野菜の栽培が難しいので、土壌改良が必要です。

② 土壌酸度

土には酸性、中性、アルカリ性の性質があります。ほとんどの野菜は弱酸性を好みます。土の酸度は土壌診断などで調べられます。

※土壌診断は購買店舗などで受け付けています。
　診断料は2,000円（税別）です。

よい土と悪い土の調べ方



よい土：土を軽く湿らせて強く握り、かためたものを指で押すと崩れる。

悪い土：土を軽く湿らせて強く握り、かたまらなかった場合、または、かたまっても指で押して崩れない。

営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、
● **農作物の栽培方法に関すること**　● **病害虫の防除に関すること**
などを中心にご相談を受け付けております。何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

● **電話番号**　**(097)544−6462**（むーよろず）
※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。
● **受付時間**／月･水･金曜日（祝日は除く）8:30～17:00
（受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります）
● **設置場所**　営農部

栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。種･肥料･農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのＪＡ購買店舗をご利用ください。